

減らぬ 待機児童

需要の多い場所に施設が不足

『希望しても保育所などに入れない!』いわゆる待機児童が増加を続けています。

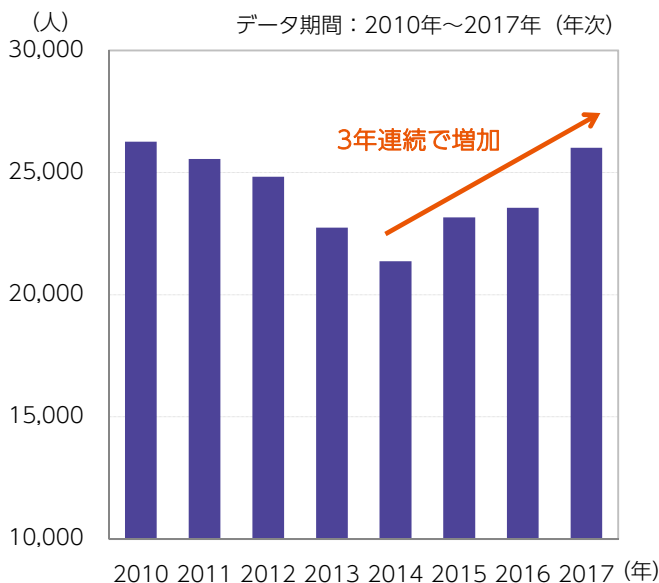
2017年4月1日時点の待機児童数は前年より2,528人増加の2万6,081人となり、3年連続で前年より増加となりました(図表1)。全国の保育施設等は、この1年間でおよそ11万人分の枠が増えたものの、需要の多い都市部で整備が遅れていることが影響したようです。政府は『子育て安心プラン』で2020年度末までに待機児童をゼロにする目標を掲げているものの、保育施設の設置を増やすなど受け入れ体制の拡充が不可欠となりそうです。

近年、保育施設の需要が拡大しつつある最大の要因は、結婚・出産後に働く女性が増加しているためです。25~44歳の女性の就業率は2016年時点で72.7%となっており、5年前から大きく上昇しています(図表2)。子どものいる世帯の平均所得も1996年をピークに減少傾向にあり、多くの世帯が共働きの必要に迫られていることも要因であると考えられます。

国や自治体が少子化対策を進めた結果、2017年4月時点の保育施設の定員数は前年に比べて約11万人増加しました。しかし、現状は高層マンションの建設が相次いでいる都心部や、ファミリー世帯が集中する都心へのアクセスが便利なベッドタウンなどの保育需要の多い場所で施設が不足しているというミスマッチが起きているようです。

厚生労働省はこのような現状を踏まえ、来年度より待機児童の実態について地域ごとにより細かく公表するよう自治体に依頼し、今後はその情報をもとに需要と供給のミスマッチの解消につなげていく見込みです。

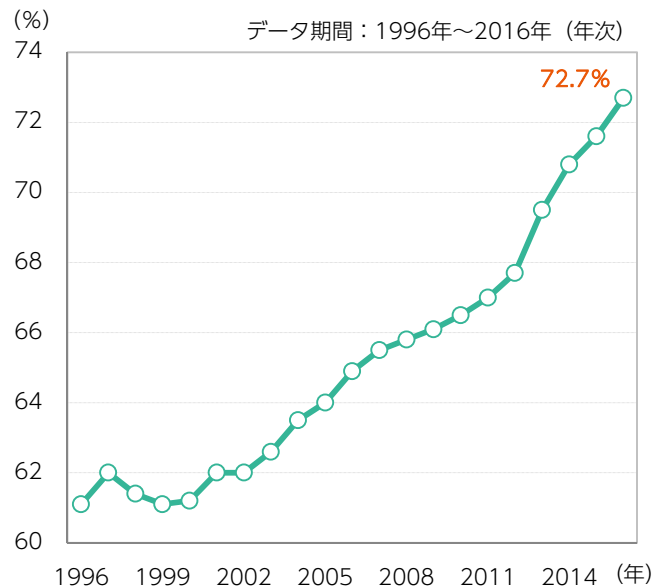
図表1：待機児童は減らず、3年連続で増加



※待機児童数の推移 (各年4月1日時点)

出所：厚生労働省のデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

図表2：女性の就業率は年々上昇している



※女性(25~44歳)の就業率の推移

出所：内閣府男女共同参画局のデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会